



# こまくさ

平成29年

4月18日(火)

No.3

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!~

春の嵐で、昨晚から学校の周りは強風になって枝などが落ちています。大きな被害の連絡は入っていないので、安心してるところです。

さて、1年生の給食も始まり、学級を訪れると「おいしいです」「おかわりしたい」「全部食べました」などの嬉しいお話を聞かせてくれます。準備や後片付けも立派にできています。

明日は、年度当初の参観日です。授業では、新学年になってはりきっている子どもたちの様子をご覧ください。1年生は学校に慣れてきた様子、2年生以上は昨年からの成長の様子などをご覧くださいと思います。また、全体会では、学校としての基本的な考え方や新しい取組についての説明があります。また、学年懇談では、学級の経営方針の説明などもあります。最初が肝心ということもあります。どうぞ、お話をお聞きになって、不明な点については遠慮無く質問してください。

多数のご来校をお待ちしております。



《1年生の給食の様子》

## 秋田県校長会より

毎年、年度当初に秋田県の公立小中学校の校長が、潟上市にある県の教育センターに集まり、県の教育委員会からその年度の方針説明を聞いたり、県の課題に対してグループで話し合ったりします。昨年度から、話題の中心は「人口減少」です。昨年度初めて県の教育委員会として「人口減少防止に対して学校で、できること」という話がありました。それだけ喫緊の課題になっていることだと思います。

学校で、できることは、それほど多くはありませんが、大きく①「子どもたちに、ふるさとを好きにさせること」②「ふるさとの課題を明らかにして、子どもなりの考えを持たせること」③「ふるさとで暮らしていく時に必要な力をつけること」が考えられます。これまでのふるさと学習で、たくさんのよさを見つけています。まずは、ふるさとが好きだという気持ちを持たせることが大切です。新聞に「沖縄県人はうるさくらい自県の自慢をする。秋田県人は、控えめな県民性もあり、自分の県の良さを発信しない。」という記事がありました。秋田を好きで、発信したという気持ち大切です。しかしながら当然課題もあります。それを、どのように解決すべきかを考える機会をつくらなければ、自分が暮らしていくときに困ることになります。そして、秋田で暮らしたいと思った時に、起業したりネット販売をしたり、県内企業に勤めたりする際に必要な知識や技能、アイデア等の力も必要になると思います。

生保内小学校では、あんべいいなチャーハンの販売体験等をさせながら、①だけではなく、②、③に対する取組も行っています。子どもに、秋田発〇〇という考えが根付き、秋田で暮らしながら、他県から人を呼び寄せることができれば嬉しいと思っています。

県の校長会で、ソーシャルワーカーを増員したので、必要に応じて活用を宣伝してくださいという連絡がありました。学校を通して通さなくてもよくなったので、使い勝手はよくなったと思います。リーフレットをご覧になって、必要な場合は連絡をしてください。なお、学校の窓口は教頭（Y.）になります。

保護者用（小・中学校）

# H29年度 スクールソーシャルワーカー活用リーフレット

秋田県教育委員会

## みんなときはスクールソーシャルワーカーに相談を！

- ・家庭内の困りごとが子どもに影響しているような気がするのですが…。「…私一人では…」。
  - ・教育費について悩んでいます…。何かよい制度は？
  - ・子どもに暴力を振るわれて困っています…。
  - ・震災の影響による家庭環境を改善したいのですが…。
- など



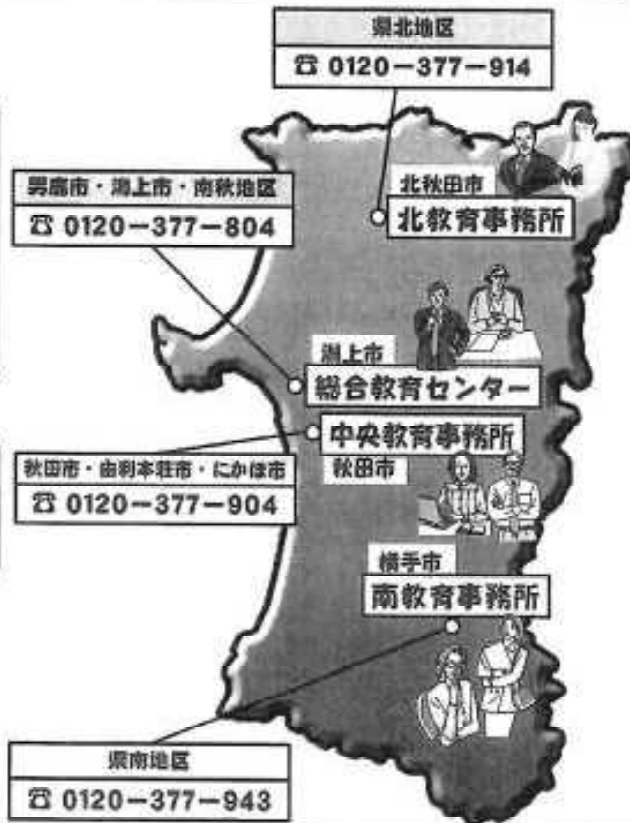
スクールソーシャルワーカーは、  
子育てする環境を改善するために、さまざまな機関  
(医療、福祉など)に働きかけてくれる**福祉の専門家**です。

### ◇申し込み方法は？



お子さんの学校に直接申し込むかお住まいの地域のフリーダイヤルに連絡してください。フリーダイヤルの受付は平日の8:30～17:00です。

5月以降はメールからも申し込みができます。申し込み先のメールアドレスは、準備が整い次第、学校を通じて改めて御連絡します。



※フリーダイヤルは、相談日程等を調整するためのもので、その場で相談に応じるものではないそうです。学校担当は、教頭の山嵜田まで。